

施策	84	活気ある街づくりの推進	政策	8	山、里、街の魅力を高め交流と連携によるグローバルなまちづくり
施策主管課	商業・市街地活性化課	課長名	松江良文	内線	4650
政策担当部長名	総合政策部長 今村和男				
施策関係課名	土木課、地域計画課				
重点施策	関連計画	リニア将来ビジョン、国土利用計画飯田市計画、飯田市土地利用基本方針、飯田市景観計画、飯田市緑の基本計画、飯田市中心市街地活性化基本計画			

1 施策の目的

目的	対象	中心市街地
	意図	人や物が集まり活気がある

2 現状把握

(1) 対象指標、成果指標の状況

対象指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	見込み 28年度
飯田市中心市街地活性化計画に基づく中心市街地の面積(H20.7.9に認定を受けた中活計画(第1期計画)によりH20より対象面積を変更。第2期計画も第1期計画を踏襲)	ha	151	151	151	151	151	151	151
成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標 28年度
成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理								
中心市街地の人口	人	9,886	9,706	9,535	9,410	9,259	9,092	9,000
まちなかの6スポットの1日あたりの延べ歩行者数 <small>(本町1、銀座3、りんご並木、知久町1、駅前、中央通り5)</small>	人	9,610 10,606	13,676	16,066	15,114	16,958	14,896	14,000
中心市街地における都市福利施設の利用者数 <small>(飯田市公民館、りんご庁舎、堀端ビル、おしゃべりサラダ)</small>	人	96,218	110,978	118,277	112,187	117,009	110,107	112,000

(2) 成果向上に向けての役割分担

主体	役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度実績	24年度	25年度	26年度	目標 28年度	
行政	中心市街地の整備に関する基本計画を作成する。(都市計画法:都市マスタープラン、中心市街地活性化法:中心市街地活性化計画等) 基本計画に基づき、賑わい創出と再生のための整備の推進を行なう。(都市再生整備計画-まちづくり交付金) 法人等が行なう街づくりの公益的な整備について、必要な支援を行なう。(法、条例等) 行政サービスや福祉・医療施設、生涯学習等の拠点機能の集積を図る。(暮らし・にぎわい再生事業等) 商業、産業、教育、福祉等の他分野との協働を通じて、街づくりへの市民参加を啓発する。 駐車場をはじめとする街なかの交通のあり方について方向性を示す。	策定した計画数 (把握方法と単位:各課への照会数)	2	2	2	2	2	
		計画に基づいた事業の実施数と進捗率 (把握方法と単位:各課への照会箇所、%)	箇	33	44	47	44	43
		リニューアルや集積を行った施設数 (把握の方法と単位:各課への照会 箇所)	%	61	81	87	73	80
		公共施設の利用者数(動物園、りんご庁舎) (把握方法と単位:利用者統計人)	動	56,710	102,941	118,370	132,969	70,000
		訪れた人数 (把握方法と単位:歩行者・自動車通行量 4箇所)	り	21,794	20,640	16,774	15,174	26,000
				8,390	7,520	7,476	8,604	8,592

主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項
市民等	個人	地域に関心を持ち、街づくりに対しての提言や街づくりの活動に参加する。 所有財産の積極的な運用や身近にある公的財産や資源の保存等を行う。	・街づくりに対しての提案提言数 ・街づくりの活動への参加人数	・市民活動団体がりんご並木まちづくりネットワークの活動に参加することを通して、中心市街地の活性化に貢献している。 ・飯田丘のまちフェスティバルでは、様々な団体が催事を担うなか、地元商栄会も連携し積極的な参加をしている。 ・橋北まちづくり委員会等では、自らの企画と行動により積極的に様々なまちづくり活動に取り組んでいる。 ・りんご並木周辺では、所有と使用の分離によって、テナントミックス事業が成果を上げている。
	法人 (地区団体・公的法人、企業)	街づくりへの提言を行い、主体的に事業の実施を図る。 「持っている地域財産」を活用したイベント等の仕掛けをし、賑わいの創出を行なう。 商業、産業、教育等の他分野との協働を進める。 地域資源や資材の発掘、保存、活用、宣伝に取り組む。	・街づくりに対しての提案提言数 ・主体となって行なった事業数 ・仕掛けたイベントの数と来訪者数 ・まちづくりグループの数	

3 平成26年度の評価結果

(1) 実施した事務事業の評価 (取組みの状況評価)

計画どおり取り組めた
おおむね計画どおり
あまり取り組めなかった
達成できなかった

(2) 施策全体の評価 (外部要因も含めた総合的な評価)

進んだ
ある程度進んだ
あまり進まなかった
進まなかった

4 平成26年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

歩行者数は若干減少したが、調査は毎年10月に実施しており、11月に並木横丁いこいのオープン、3月には開園以降最高となった動物園来場者のまちへの回遊を促す取組「春うらら丘の上さんぽ」を実施しており、調査以降、歩行者数は回復してきていると認識している。また、ほぼ毎月実施したりんご並木歩行者天国イベントでも13万人弱の来訪者を数え、賑わいの創出につながっているが、さらに、日常的なまちなか回遊を高める必要がある。

飯田市中心市街地地区都市再生整備計画の要望額に対する国費の配分(H26:57%)が少なく、今後の事業実施に影響がある。

【事務事業群テーマ別の評価】

< 住みやすい中心市街地の整備 >

・中心市街地の歩道における段差解消を行い、子供やお年寄りに優しく安全で歩き易い歩道整備を行い、歩行者の安全確保を実施した。
・老朽化した街路灯の整備を行い歩行者の安全、防犯対策を実施した。

< 中心市街地へのアクセス性の向上 >

・りんご並木、中央公園、桜並木通りを中心として道路整備を行う事により、波及効果が期待されるため、周辺の動線を検討する必要がある。

< 訪れたいスポットの整備・維持管理 >

・りんご並木再整備事業において、りんご並木舗装改修検討会議(市民会議)を実施し、整備における検討結果の報告書が提出された。今後、報告書を参考に実施設計を行い早期に整備を実施し完了させる。
・リニア駅周辺との機能・役割分担や中心市街地にふさわしい都市デザインについて、JR飯田駅周辺を対象地区として、(公財)都市づくりパブリックデザインセンター主催の「まちの活性化・都市デザイン競技」でもって、全国から提案を募り、32作品の応募があった。
・りんご並木周辺商業施設等の利用の利便性を向上させるために、飯田まちづくりカンパニーによる大型駐車場の開設に支援を行った。
・桜並木の整備方針を策定するための調査業務として、「桜並木とまちづくりを考える懇談会」を開催し、整備に向けた諸条件の検討を行った。

< 日常的なイベントの担い手支援 >

・りんご並木まちづくりネットワークは、りんご並木をフィールドとしてイベント・まちづくりの複数の担い手が日常的に互いに連携し協働する取り組みであり、市もその一員として市民活動の支援ができた。

< イベントの開催 >

・りんご並木活性化事業における歩行者天国イベント、中心市街地活性化協会を軸とした飯田丘のまちフェスティバルは、楽しみや賑わいのあるハレの場としての中心市街地を創りだし、参加団体も増え市民への定着が図られてきた。

< 中心市街地関連事業の円滑な推進 >

・2年間の検討を経て、平成26年4月から5年間を期間とする「第2期飯田市中心市街地活性化基本計画」の運用が始まっている。当初に60の具体的事業を掲げ取り組みを進めている。
・平成27年1月9日に飯田市中心市街地地区都市再生整備計画第2回変更を行い、より実効的な計画とした。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

<住みやすい中心市街地の整備>

・引続き歩道の段差解消、排水路等の整備を行い、安全で歩き易いクオリティ道路整備を進める。

<中心市街地へのアクセス性の向上>

・公共交通の利用促進を図るとともに、電気小型バスなどの活用により訪れやすいまちを構築していく。

<訪れたいスポットの整備・維持管理>

・りんご並木舗装改修検討会議の報告を受け、実施設計を行い整備に着手する。

・デザイン競技によってJR飯田駅周辺整備に寄せられた提案について、将来の検討の参考としてもらうために、提案内容の紹介や考え方についてシンポジウムを開催し、広く市民に周知する。

・桜並木の整備に向けた整備活用方針の策定に取り組む。

<日常的なイベントの担い手支援>

・りんご並木まちづくりネットワークや丘のまちフェスティバル実行委員会などの仕組みを活かし、まちづくりの担い手を支援する。

・JR飯田駅周辺、仲ノ町周辺などで新たな取り組みを行う組織への支援を進める。

<イベントの開催>

・日常的な中心性の創出を意識しイベントの企画・運営に臨む。

<中心市街地関連事業の円滑な推進>

・第2期飯田市中心市街地活性化基本計画に基づく事業推進を図る。計画全体及び目標値、各種事業毎の進行管理を着実に進めるとともに、計画策定段階では未成熟であった事業については、具体化に向けて検討を進める。

6 平成26年度事務事業 施策系統図

目標 施策8-4

対象
中心市街地

意図
人や物が集まり活気がある

成果指標

中心市街地に住んでいる人数

まちなかの6スポットの1日あたりの延べ歩行者数

中心市街地における都市福利施設の利用者数

住みやすい中心市街地の整備

中心市街地へのアクセス性の向上

訪れたいスポットの整備・維持管理

日常的なイベントの担い手支援

イベントの開催

中心市街地関連事業の円滑な推進

事務事業

飯田144号線整備事業
中心市街地道路整備事業【26新規】

りんご並木三連蔵管理事業
飯田駅周辺プロジェクト【26新規】

拠点型駐車場整備補助事業

人形とけい塔管理事業

電気小型バス実証運行事業

桜並木整備事業

動物園管理運営事業

りんご並木管理事業

扇町公園整備事業【26新規】

中央公園再生整備事業【26新規】

東栄公園整備事業【26新規】

中心市街地活性化協会運営事業
りんご並木活性化事業

中心市街地活性化事業推進事務